

審判方法 I

チアダンス・シニア チアダンス・ジュニア

ジュニアでシニアと異なる要素(▲) 【2015.59改訂】

審判項目		評価
1. テクニック Technique		計 55点
① ダンスの表現 Dance Expression【独創性】		10
② ピュリエット／ターン Pirouette/Turns(Diff.2) ▲一つのダブルピュリエット 一つはダブルピュリエット【完成度、安定度、シャープさ、難度、連続性、】		10
③ 柔軟性/ハイキック High Kicks(Diff.3) ▲(Diff.2) スプリッツ Splits(Diff.1) 最低1回のスプリッツ、左右、前後どちらでも良い【柔軟性、難度、 テクニック、連続性、使用方法、】		10
④ チアジャンプ Cheer Jumps(Diff.3): 両脚踏切両脚着地 ▲(Diff.2) 【柔軟性、高さ、パワー、スピード、テクニック、】		10
⑤ リープ Leaps(Diff.2) 【柔軟性、多様性、難度、テクニック、】		10
⑥ チアアームモーション Cheer Arm Motions 最低8カウントのチアアームモーション【シャープさ、スピード、正確さ、 独創性、同時性、】		5
2. 演技構成 Choreography		計 25点
① 難易度 Difficulty 【テクニック、各選手の技術度、】		10
② 視覚的効果 Visual Effects 【ダンススタイルの多様性、独創性、テクニック、】		10
③ 演技の流れ Flow of Routine 【スピード、迫力、バランス、移り変わり、】		5
3. 実効性 Execution		計 20点
① フォーメーション／トランジション Formation/Transition 【間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、】		10
② シンクロナイゼーション（同時性） Synchronization 【シャープさ、正確さ、難度、完成度、】		10
合 計		100点

※(Diff.1～3)は異なった動きの最低の数をあらわしている。

※全員同じ種類の動きを同時に又は波状的に行う。

審判方法Ⅱ

ダブルス・シニア ダブルス・ジュニア

ジュニアでシニアと異なる要素(▲) 【2015.5.9改訂】

審判項目		評価
1	ダンスの表現 Dance Expression 【ダンス技術、異なったダンススタイル、独創性】	10
2	規定要素≪技術≫ Compulsory elements (Technique) ① ピュリエット／ターン Pirouette/Turns(Diff.2) ▲一つのダブルピュリエット 一つはダブルピュリエット【完成度、安定度、シャープさ、連続性、】 ② ハイキック High Kicks(Diff.2) スプリッツ Splits(Diff.1) 最低1回のスプリッツ、左右、前後どちらでも良い 【柔軟性、難度、テクニック、連続性、使用方法、】 ③ チアジャンプ Cheer Jumps(Diff.3): 両脚踏切両脚着地 ▲(Diff.2) 【柔軟性、高さ、パワー、スピード、テクニック、】 ④ リープ Leaps(Diff.2) 【柔軟性、多様性、難度、テクニック、】 ⑤ チアアームモーション Cheer Arm Motions 最低8カウントのチアアームモーション 【シャープさ、スピード、正確さ、独創性、同時性、】	10
3	規定要素≪難易度≫ Compulsory elements (Difficulty) 【テクニック、各選手の技術度、】	10
4	演技構成 Choreography ① 演技の流れ Flow of Routine ② フォーメーション／トランジション Formation/Transition 【間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、】 ③ 音楽の使用法 Use of Music ④ 視覚的効果 Visual Effects 【ダンススタイルの多様性、独創性、テクニック、】 ⑤ シンクロナイゼーション（同時性） Synchronization 【シャープさ、正確さ、難度、完成度、】	10
5	全体評価 Overall evaluation 【エネルギー、自信、アピール性】	10
合 計		50点

※(Diff.1～2)は異なった動きの最低の数をあらわしている。

※全員同じ種類の動きを同時に又は波状的に行う。

